

第5回 美しい四国づくり委員会



平成20年2月22日

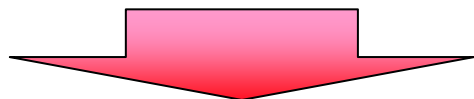


四国四県の取組指針の 検討について

1. 「美しい四国づくり」の今後の展開

《今後の展開》

美しい四国づくり宣言



美しい四国づくり宣言を
生かした四国四県の取組
指針を作成・・・

《委員会の役割》

運動推進機関

- ・取組指針、施策
へのアドバイス
- ・取り組み状況の
フォローアップ

2. 検討のポイント

《課題》

多様な主体の
参加と連携

地域独自の個
性と特色ある
地域づくり

具体的な取り
組み方法

住民参加の支
援を行う施策

地域資源の
見つけ方、
活かし方、
価値の高め方

取組事例
情報発信
交流連携

3. 取組指針のねらい

●本取組指針は、各地域の状況に応じて、どのような活動を行えばよいかを示すものとして、『**美しい四国づくりの処方箋**』といった親しみやすいものにする

- 風景づくりの原則や手順を学ぶことができる
- 風景づくりのより現実的な課題をどのように乗り越えていくとよいかを、成功事例を交えて示す
- 単なる施策アイデア集ではなく、各段階における「人の動き」に着目した指針とする

4. 取組指針の目次構成（案）

第1章 取組指針策定の背景・目的

- ・美しい四国づくり宣言を活かして、地域づくりを具体的に進めるための「処方箋」を示すもの。

第2章 地域づくり・風景づくりの原則と手順

- ・地域づくり・風景づくりの基本的考え方（原則）と進め方を整理し、提示。

プロセス＝資源の再発見（見つける）

目標設定（将来を描く（話し合う））

取組＝役割分担（役割を決める）

活動拡大（仲間をふやす）

意識＝付加価値（違いを知る）

活動意欲（楽しさを見つける）

第3章 美しい四国づくりに向けた処方箋

		美しい四国づくりの目標の柱				
		人を育てる活動	原風景を守る活動	景観に磨きかける活動	訪れる人をもてなす活動	地域をつなげ発信する活動
プロセス	【資源の再発見】 見つける					
	【目標の設定】 将来を描く					
取組	【役割分担】 役割を決める					
	【活動の拡大】 仲間を増やす					
意識	【付加価値】 違いを知る					
	【活動意欲】 楽しさを見つける					

美しい四国づくりの目標の柱毎に、「プロセス」「取組」「意識」それぞれの課題に応じた行動を、事例を通して整理。

5. 美しい四国づくり宣言を生かした 四国四県の取組指針の作成

学識経験者、地元団体、行政担当者による勉強会を実施

勉強会イメージ

①モデルプロジェクト地域での検討

②これまでの各地域での取り組み事例
の勉強

③取り組み方針の整理

④四県、四国全体への展開

◆美しい四国
づくり四県取
組指針の作成



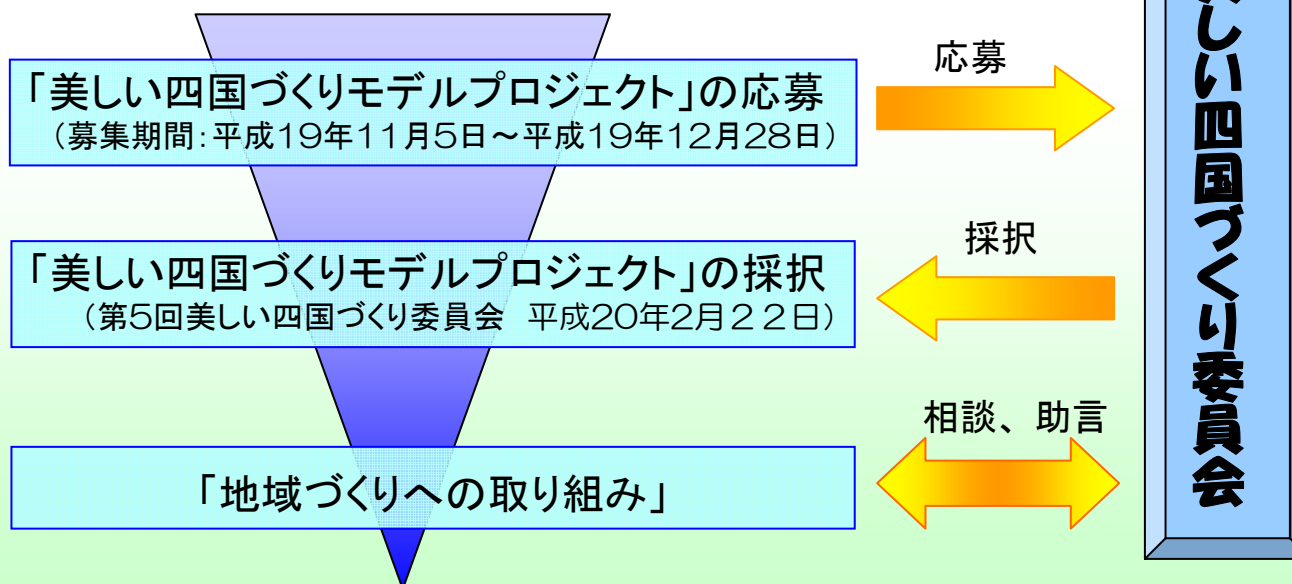
モデルプロジェクトについて

美しい四国づくりモデルプロジェクトのサポート

モデルプロジェクトの概要

地域が主体となって取り組む、地域づくり、風景づくりに関する具体の構想を広く募集し、地域の取り組み状況に応じて、支援を実施

応募団体
(地方公共団体、地元団体、NPO、市民グループ等)



応募モデルプロジェクト一覧（7件）

◇四国四県

- 四国八十八箇所霊場と遍路道周辺における広域的な文化的景観形成と計画的保全プロジェクト
（四国遍路世界遺産登録推進4県協議会）

◇徳島県

- 徳島市：川を活かした街づくり（NPO法人 新町川を守る会）
- 勝浦町：町の宝「夢ざくら」満開（NPO法人 阿波勝浦井戸端塾）
- 三好市：祖谷のかずら橋たたずまい創出プロジェクト
（三好市（祖谷のかずら橋たたずまい創出プロジェクト））

◇香川県

- 東かがわ市：引田地区歴史町並み景観調査
（NPO法人 東かがわ市ニューツーリズム協会）

◇愛媛県

- 松山市：道後温泉 歴史漂う景観まちづくり
（道後温泉歴史漂う景観まちづくり推進特別委員会）

◇高知県

- 梶原町：梶原ししまる地区 まちづくり（たくみの会）

四国4県

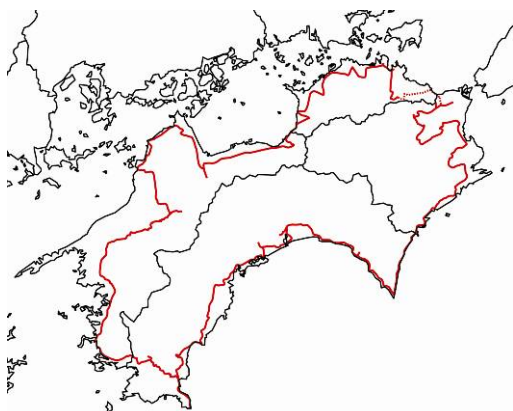
四国八十八箇所霊場と遍路道周辺における広域的な文化的景観形成と計画的保全プロジェクト

推進主体

四国遍路世界遺産登録推進4県協議会

目標

- 広域的な文化的景観形成及び保全について四国の方向性を見出す
- 県、市町村の行政の意識レベルを合わせ、全市町村で景観計画を策定



四国八十八箇所霊場と遍路道周辺における広域的な文化的景観形成と計画的保全プロジェクト

- 広域的な文化的景観形成及び保全について四国の方向性を見出す
- 県、市町村の行政の意識レベルを合わせ、全市町村で景観計画を策定



遍路道の風景



例：さめき市の遍路道の風景



遍路道の路傍にある風景



第八十六番札所志度寺と周囲の景観

四国八十八箇所霊場と遍路道周辺における広域的な 文化的景観形成と計画的保全プロジェクト

取り組みの内容

- 県・市町村・住民の文化的景観、広域的景観への意識高揚
- 関係首長への啓発
- 文化的景観、広域的景観のコンセプトづくりへの助言
- 全国への霊場と遍路道についての情報発信
- 認知度向上のための効果的手法

徳島県徳島市：川を活かした街づくり

推進主体

NPO法人 新町川を守る会

目標

- 新町川を中心に吉野川水系でのネットワーク作り
- 川からの景観形成、水の都の視点からの街づくり
- 市民の手により10年後をめどに景観条例策定



【これまでの活動の継続と拡大】



無料遊覧船の定期運航



月2回の河川清掃



吉野川源流の森づくり



吉野川フェスティバル



水際コンサート

水際での様々なイベント活動



水際での花壇づくり

【これからの活動内容】

●新町川を中心に吉野川水系でのネットワーク作り

撫養航路復活：昭和初期までの主要航路であった巡航船を復活し、河川文化を再構築



昭和初期の撫養航路



撫養航路の復活

【これからの活動内容】

- 川からの景観形成、水の都の視点からの街づくり
- 市民の手により10年後をめどに景観条例策定

ひょうたん島の景観まちづくり：遊覧船から見た街並みについての意見募集・計画づくり



※ひょうたん島
市内中心部を流れる新町川と
助任川で囲まれた中州。



未改修護岸の整備



水際での景観セミナー

取り組みの内容

- 会員の意識を高め、事業に多くの参加者を集めるための具体的なポイント
- 自分達だけでは気付かない地域資源等について専門家の目からの指摘

徳島県勝浦町：町の宝「夢ざくら」満開

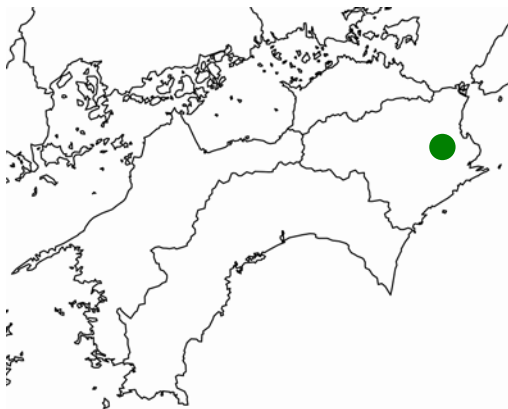
推進主体

NPO法人 阿波勝浦井戸端塾

目標

● 5年間で全町に夢ざくらの移植を進めたい

1. 人形文化交流館
2. 生名バイパス道路側帯
3. 観光名所
4. 勝浦病院駐車場周辺
5. 特別養護老人ホームゲート
ボール散歩道周辺
6. ふれあいの里さかもとまでの
県道、町道、側帯



【枯死寸前となっている夢ざくら（かんひざくら）の古木と苗木】



現在の夢ざくら



苗木増殖の様子

【夢ざくらを移植したい場所】



ビッグひな祭り
会場周辺



特別養護老人ホームのゲートボール場



特別養護老人ホームの駐車場

取り組みの内容

- 「夢ざくら」商標登録申請についての指導
- 苗木の普及方法
- 技術者・作業者などの支援
- 本年度で20回目を迎えるビッグひな祭り開催時において、満開の夢ざくらでイベントの効果を高め、地域活性化を図るための方策

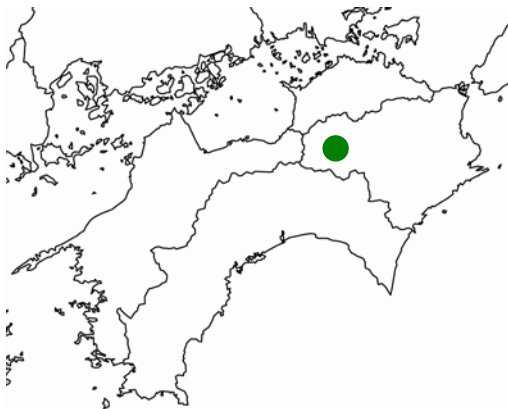
徳島県三好市：祖谷のかずら橋 たたずまい創出プロジェクト

推進主体

三好市(祖谷のかずら橋たたずまい創出プロジェクト)

目標

- 祖谷の自然美の保全活動の実施
- 良好な自然を活かした魅力ある滞在拠点（駐車場・民家の外観修景）づくりの推進
- 自然植物の保全（フジ等）



祖谷のかずら橋たたずまい創出プロジェクト

- 祖谷の自然美の保全活動の実施
- 自然植物の保全（フジ等）



祖谷のかずら橋(藤の花)



祖谷のかずら橋(紅葉)

【景観対策の取組】（かずら橋の風景の保護）



食堂・民家の移転により水際公園を整備（平成10年度）



もみじの植樹



クリーンウォーク

●良好な自然を活かした魅力ある滞在拠点 (駐車場・民家の外観修景) づくりの推進



かずら橋大型駐車場
コンクリート柱にツ
タを生やし周囲の風
景に溶け込むよう
にしたい。植樹による
景観対策を行いたい。



観光商業施設の
ショーアップに
よって、山間地ら
しいたたずまいと
雰囲気を出したい。

取り組みの内容

- 専門家による地域の評価
- 同様実情地区の紹介（交流会の検討）

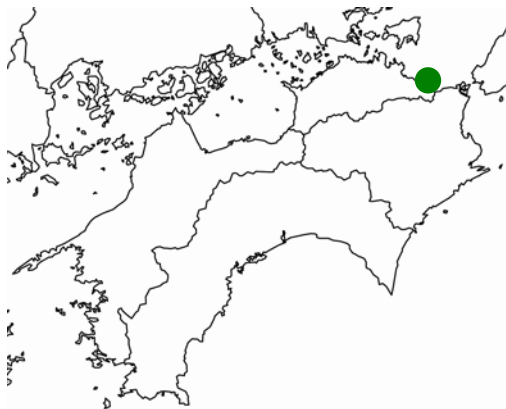
香川県東かがわ市： 引田地区歴史町並み景観調査

推進主体

NPO法人 東かがわ市ニューツーリズム協会

目標

- 引田地区の歴史的な建物の登録有形文化財の認定申請
- 周辺エリアを含めた地域の景観づくり計画を策定
- 地場産業のデザインや技術を活かした観光交流スポットの実験的創設



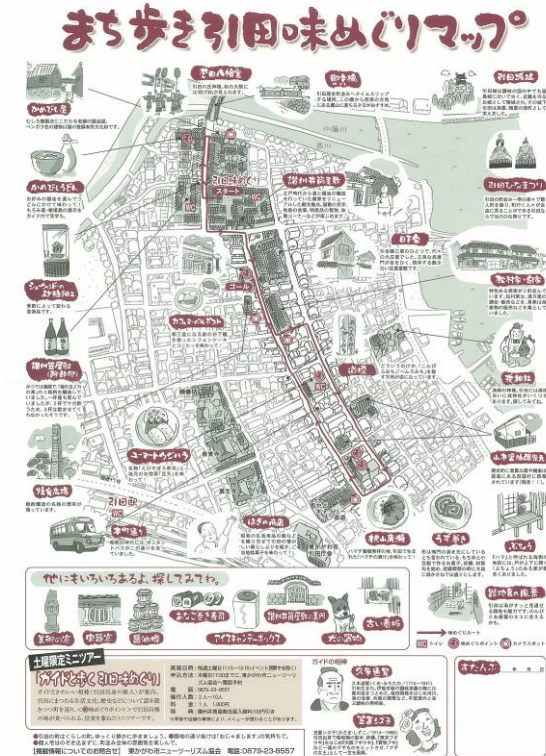
【これまでの活動】



商家旧井筒屋を活用した観光交流拠点『讃州井筒屋敷』



町並み保存会による歴史ガイドや味めぐりツアー



特産品の開発研究や地場産業を活かした体験教室



地域イベントのサポート



【これからの活動】

- 引田地区の歴史的な建物の登録有形文化財の認定申請
- 地場産業のデザインや技術を活かした観光交流スポットの実験的創設



旧庄屋:「日下家」



醤油業:「岡田家」
(かめびし醤油)



町並みギャラリー



地場産業の手袋のデザインや技術を活用

【これからの活動】

●周辺エリアを含めた地域の景観づくり計画を策定

観光まちづくりのための町並み景観調査



連続する町並み



連続性が失われた町並み



調和しない看板



目立つ電線・電柱

取り組みの内容

- 景観づくり計画策定のためのアドバイス
- 町並み景観調査のための専門家派遣
- 手袋ギャラリーの実験的設置・運営の指導
- イベント、観光情報の効果的な情報発信(効果的なチラシの設置、魅力的なチラシなど)

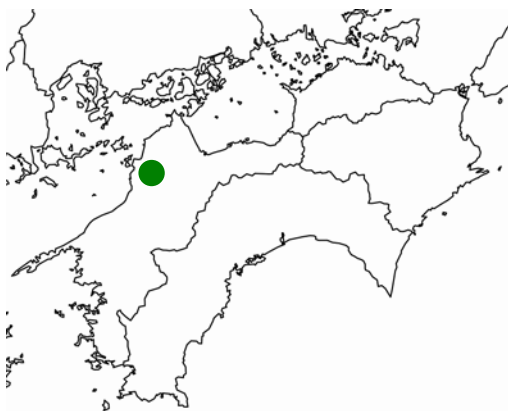
愛媛県松山市： 道後温泉 歴史漂う景観まちづくり

推進主体

道後温泉歴史漂う景観まちづくり推進特別委員会

目標

- 来訪者数の増加、滞在時間の延長
- 良好な景観形成と保全
- 道後温泉本館周辺の景観の調和
- 歴史を感じさせる施設の検証・復元の推進



【道後温泉本館周辺】

- 良好な景観形成と保全
- 道後温泉本館周辺の景観の調和



整備後の道後温泉本館周辺



整備後の道後温泉本館前

●歴史を感じさせる施設の検証・復元の推進



温泉旅館が廃業し、マンションが建設される



歴史的な建物を活かした、回遊空間の創出が望まれる地区



屋外広告物の状況

取り組みの内容

- 経済活動と景観形成の関連や法令による景観形成の手法等を学ぶ機会
- 史実を調査研究するための手法や人材等、関連する情報
- 地域住民・事業者の理解を深めていく方法や「まちづくり」を継続している取組事例

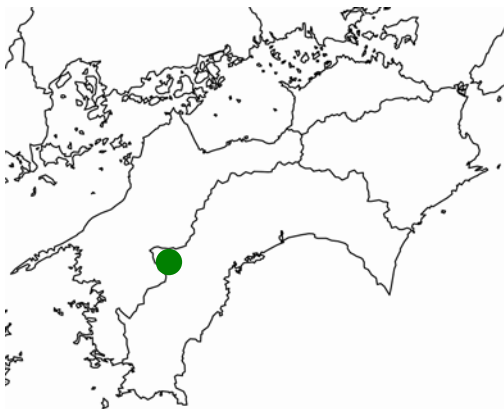
高知県檮原町： 檮原ししまる地区 まちづくり

推進主体

たぐみの会

目標

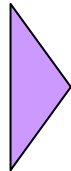
- 檮原町内にまちづくりの輪を広げる
- 地域で景観づくりにつながるイベントを開催



【これまでの活動】

国道440号の拡幅とあわせて、沿道のまちづくりを実施。

栲原独自の景観形成基準によって修景された建物



たくみの会が中心となって開催するワークショップ



【これからの活動】

梶原町全域を対象とした景観計画を検討中

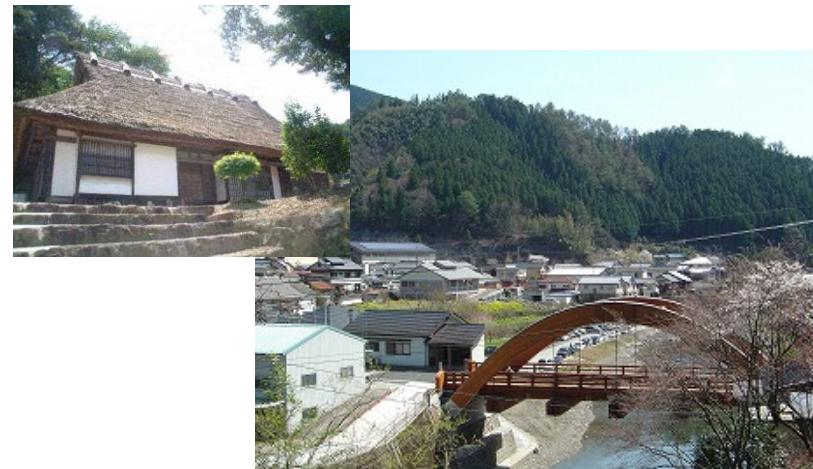
- 梶原町内にまちづくりの輪を広げる
- 地域で景観づくりにつながるイベントを開催

協力してくれる人の輪を広げる



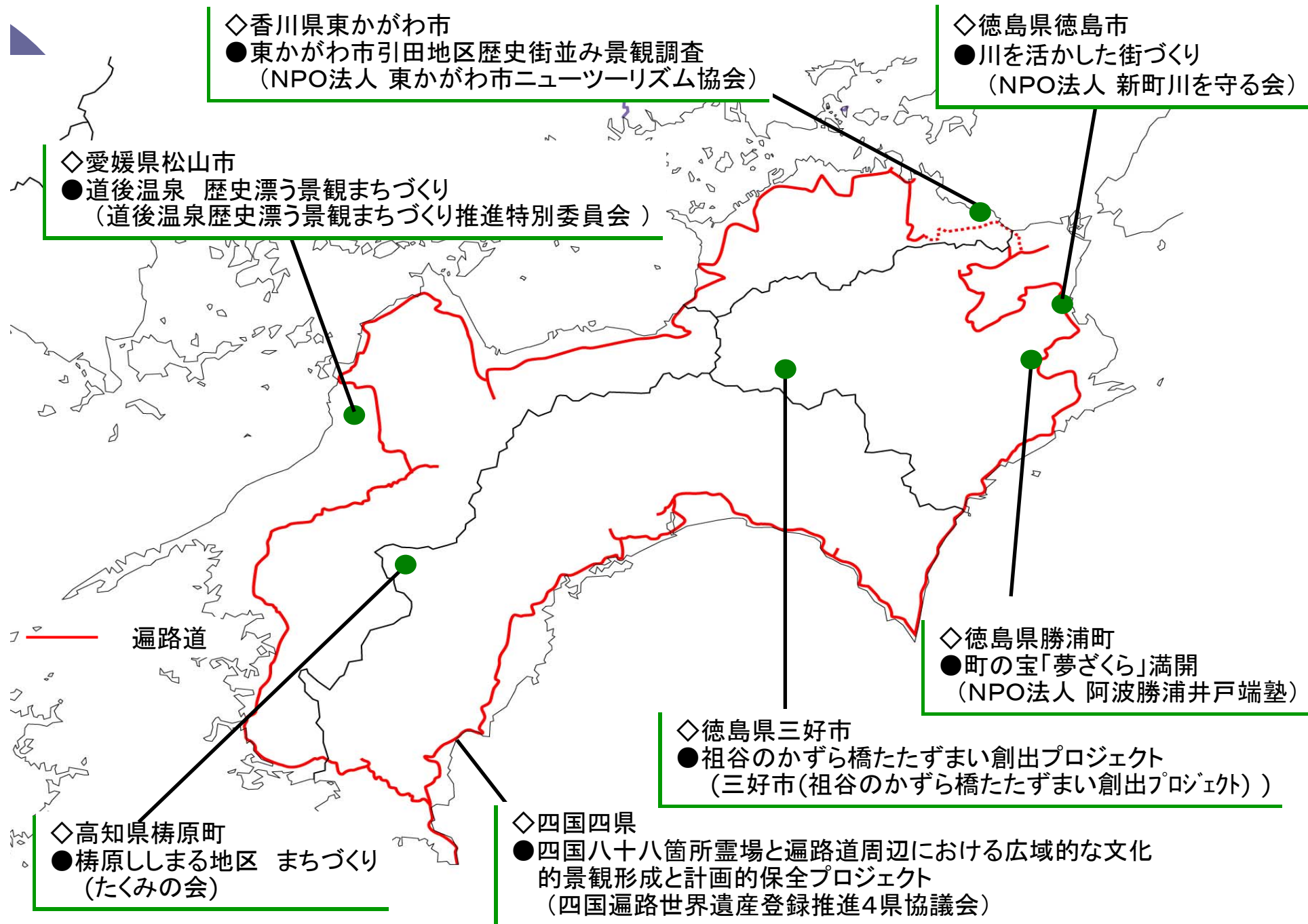
小学生や高校生との対話

環境への意識の向上



取り組みの内容

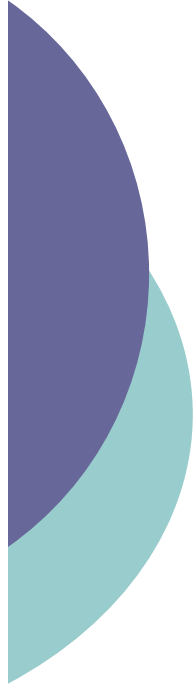
- まちづくりの中心となる人材育成
- 実際にどう取り組みを進めていけばいいか分からない人達や、若者の活動への参画促進
- 活動の輪を広げる仕組みづくり
- 特産品やおみやげ開発のアドバイス
- 活動を広く知ってもらうための情報発信



モデルプロジェクト採択地区への今後の支援

● 各地域での勉強会の開催

- 美しい四国づくり委員会から、景観づくりに向けた指導・相談、今後の実践計画づくりを支援
- 委員会の専門家が直接各地域の活動状況を把握し、活動に対する助言を実施
- 美しい四国づくりのシンポジウムを開催し、地域の盛り上げ
- 地域の活動状況に関する情報を、四国内、さらには全国、世界に広く発信



取組指針づくりに向けた 勉強会の開催

取組指針づくりに向けた勉強会の開催

①対話の場・議論のポイント

- 景観・風景づくりの主役である市町村及び地域団体を交えた勉強会を開催
- できる限り地域の人々の動きや人間関係を明確化
- 外観のみならず、そこでの生活や経済活動を維持・再生するための方策（活動資金の確保など）を議論

②勉強会の参加者

- 勉強会のテーマに応じた市町村（景観行政団体）及び地域づくり団体
- 四県担当課（課長・係長）
- 国土交通省 / 四国地方整備局関係部局及び各地域事務所
- アドバイザー / 学識経験者
- 進行役 / 「美しい四国づくり委員会」事務局

モデルプロジェクト採択地区での勉強会の開催

● 取組指針づくりに向けた勉強会をモデルプロジェクト採択地区にて開催

● 第1回勉強会

平成19年12月26日（水） 場所：東かがわ市引田地区

- ・本会の趣旨説明(取組指針の必要性)と進め方
- ・取組指針のイメージ
- ・「プロセス」「取組(アクション)」「意識」に着目した取組状況紹介
- ・意見交換

● 第2回勉強会

平成20年3月（香川県さぬき市のへんろ道を予定）

● 第3回勉強会

● 第4回勉強会

● 第5回勉強会

● 第6回勉強会

● 第7回勉強会

平成20年度

モデルプロジェクト採択地区での開催を予定

- ・四国四県の取組指針案のまとめ

モデルプロジェクト採択地区での勉強会の開催

● 第1回勉強会概要 平成19年12月26日（水）

場所：東かがわ市引田地区 讃州井筒屋敷

出席者：四国四県の景観担当者

引田地区のまちづくり活動の関係者のみなさん

東京大学 羽藤准教授（アドバイザー）

- ・参加者全員で**引田地区**を**タウンウォッチング**
- ・各県担当者がタウンウォッチングでの**気づき**と**発見**を発表
- ・気づき、発見された事柄について、**引田地区のまちづくり関係者のみなさんの生の声**を聞く
- ・引田地区でのまちづくりの経過を、「プロセス」「取組（アクション）」「意識」に分類して確認



タウンウォッチングの様子



意見交換会の様子

モデルプロジェクト採択地区での勉強会の開催

●第2回勉強会の予定

時期：平成20年3月

テーマ：香川県内のへんろ道

場所：さぬき市前山 おへんろ交流サロン

出席者：四国四県の景観担当者

香川県内のへんろ道の保全活動関係者

学識経験者（アドバイザー）

・香川県内の**生活に根付いた**へんろ道の維持や保全活動について「**プロセス**」「**取組（アクション）**」「**意識**」に着目した取組状況の確認



おへんろ交流サロン



香川県内のへんろ道



**四国四県の取組指針の
検討について**

モデルプロジェクトについて

**取組指針づくりに向けた
勉強会の開催**